

各地方連盟自然保護担当者 殿

2017 年全国自然保護担当者会議実施要項

「これからの労山の自然保護活動はどうあるべきか -自然保護の歴史を学び、これからの方向性を探る」

2017 年 8 月 23 日
日本勤労者山岳連盟

2017 年の全国自然保護担当者会議は、メインテーマを「これからの労山の自然保護活動はどうあるべきか - 自然保護の歴史を学び、これからの方向性を探る」にした。

1960 年代後半には山岳地帯の登山道や山小屋、休憩場所には登山者が持ち込んだゴミであふれていた。長野県ビーナスライン美ヶ原線、大雪山縦貫道路、尾瀬自動車道路などが計画され建設反対運動などが起こり全国労山も署名活動などに取り組んだ。1971 年労山総会で「全国の仲間を総結集して美しい自然を守ろう」と方針を明確にした。1973 年第 1 回「自然保護特別委員会」を設立、翌年に「第 1 回自然保護活動者会議」を開催、全国的な自然保護活動・運動が始まった。ゴミと乱開発から自然を守るために、本格的な自然保護活動が始まり、6 月を「自然保護強化月間」として清掃登山を取り組むことを決定し全国的なクリーンハイク・清掃登山活動がはじまり今年で 43 年目を迎えた。

各地方連盟の自然保護活動は、多様な分野で取り込まれるようになり、全国労山として、自然保護活動に対する課題と認識を整理し、活動の指針となるものとして、2006 年に「労山自然保護憲章」を制定した。

自然保護活動は、一山岳団体だけの取組では成し遂げることができなことから、2002 年の「国際山岳年」の前年 12 月に、日本を代表する山岳団体によって「山岳団体自然環境連絡会」が結成され、「山岳地域のあらゆる自然環境破壊を許さない」ために、各団体が力を合せて活動している。

今日、2011 年の東日本大震災の原発事故による山岳への放射能汚染、そして南アルプスの大自然の下を貫通するリニア新幹線開発、長野の美ヶ原台上（ビーナスライン）の車道建設が取りざたされ、新たな山岳の自然破壊が実施されようとしている。

生物多様性の保全は、自然環境を永く持続するうえで不可欠な要素であり、自然保護憲章制定してから 10 年以上たった段階で、地球規模の生物多様性の問題にどのように取り組むかを含めて、これからの自然保護をどのように考えるかを探っていくことが求められている。地方連盟で実施してきた自然保護活動を総括し、労山が、21 世紀にも世界をリードする自然保護活動団体として活動するためには何をすべきかを議論する会議としたい。

各地方連盟の自然保護担当者におかれては、積極的に参加していただき、取り組んでいる自然保護活動について報告していただくよう要請します。

主 催 = 日本勤労者山岳連盟 自然保護委員会

主 管 = 栃木県勤労者山岳連盟

日 程 = 2017年10月28日(土)13時~10月29日(日)12時

場 所 = 日光温泉 旅の宿「風のひびき」(〒321-1421 栃木県日光市所野 2854)
TEL0288-54-1013

会議のメインテーマ： 「これからの労山の自然保護活動はどうあるべきか
-自然保護の歴史を学び、これからの方向性を探る」

会議日程

受け付け 12時00分より

◆ 1日目(2017年10月28日午後1時より)

13:00-13:10 開会あいさつ

13:10-14:15 基調講演

テーマ：労山の自然保護の歴史と今後についての展望

講師 = 浦添嘉徳理事長(前自然保護委員長)

14:15-14:30 休憩

14:30-16:00 各地方連盟からの報告(2時間程度)

16:00-16:10 休憩

16:10-17:50 「これからの労山の自然保護活動」に関する討議

2日目(2017年10月29日)

08:30-10:30 分科会(分科会テーマは変更する場合があります。)

生物多様性の保全には何をすべきか。高山植物、野生鳥獣、外来種の進出

山の自然を汚さない登山、特にトイレ問題(ティッシュ持ち帰りと携帯トイレ)

野生動物(シカ、熊、イノシシ他)に対する被害対応と共存の道

森・川・海の連携や地域の実情に即した支援保護活動

午後 登山・見学(希望者オプション)

霧降高原・丸山登山(交通費往復500円)

東大・日光植物園(各自バス利用)

参加費用

・各県連の参加者一人分の往復の交通費は労山自然保護委員会で負担します。

・宿泊費等の参加費は参加者負担となります。

参加費8500円(一泊二食付宿泊代、懇親会費用、資料代を含む。若干の増減はある。)

1日目の夕食の後、交流会を予定しています。

各地方連盟からの差し入れを期待しています。

問合せ先・申込み先

全般的なお問合せ

全国自然保護委員長 花村哲也 thana@apricot.ocn.ne.jp、携帯 090-1186-5948

栃木県連へのお問合せ

栃木県連理事長 八木澤昌通 masatakahata@nifty.com、携帯 090-3684-4483

申込先 自然保護委・事務局長 林祥介 nd52123@ca2.so-net.ne.jp、携帯：

080-2006-2073、Fax 03-3421-4782

日本勤労者山岳連盟 自然保護委員会 行

申込先：林祥介、E-mail：nd52123@ca2.so-net.ne.jp、携帯 080-2006-2073、Fax 03-3421-4782

参加申し込み書

2017 年全国自然保護担当者会議	
【テーマ】これからの労山の自然保護活動はどうあるべきか -自然保護の歴史を学び、これからの方向性を探る-	
ふりがな	性別 男 女
氏名	
現住所 〒 -	：
	Fax：
	携帯：
	E-mail：
所属（会・クラブ）：	
分科会参加希望：（ ）分科会	
宿泊の有無（ 宿泊する。宿泊しない ）	

参加の交通費について

- ・各県連の参加者一人分の往復交通費は全国自然保護委員会が負担します。
- ・日程を早めにとっていただき、格安航空券や夜間高速バスなどを利用していただくようお願いいたします。

宿泊費用は参加者負担となります。

10月28日（土）の夜は、夕食後交流会を行います。

各地方連盟からの地酒などの差し入れをお願いします。

以上